2023年度写真展
STAND Still 性暴力サバイバービジュアルボイス
Visual Voice of Sexual Violence Survivors Photo Exhibit

日時：11月26日（日）12:00～12月9日（土）16:00まで

会場：横浜市男女共同参画センター北　アートフォーラムあざみ野　1階ミニギャラリー

「リスタート」by 岩田美佐 © 2023 STAND Still All Rights Reserved

ギャラリートーク「写真で見るサバイバーの思い」

講師・ファシリテーター　大藪順子　フォトジャーナリスト

日時：2023年12月2日（土）
10:00 ～ 11:30（開場 9:45）
会場：男女共同参画センター横浜北
　　アートフォーラムあざみ野
　　2階 セミナールーム
参加費：1,000円（学生 500円）
定員：40名（要予約）
申込み 12月1日（土）まで

＊提供された個人情報は、今回の事業のみに利用し、その他の目的で利用することはありません。

保育：1歳6ヵ月～未就学児（予約制・有料）
当日 4日前までに「子どもの部屋」へご予約ください。（TEL 045-910-5724）

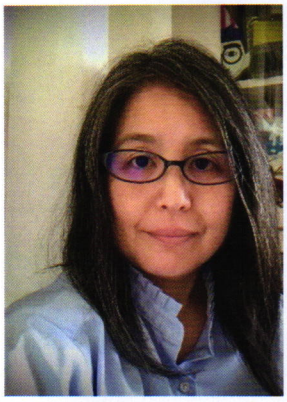
参加申込みは当団体HP
お問い合わせフォームより

主催：STAND Still　協力：Picture This Japan

助成：ヨコハマアートサイト
横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト 2023

プロジェクトSTAND Still
性暴力サバイバービジュアルボイス

世界的なムーブメント#MeTooは、多くの性暴力被害者に希望を与えました。それでも公に#MeTooと言えない被害者達は数え切れないほど存在します。そんな人達が安全に自由に表現できる場作りとして、フォトジャーナリスト大藪順子が2019年「STAND Still」を始めました。このプロジェクトでは、大藪が撮るのではなく、サバイバー自身が写すことで被害者の世界を内側から可視化します。性暴力被害という辛い体験があったにも関わらず今も生きているだけで、サバイバーには大きな価値があると信じてます。その体験があるからこそ、その人にしか言えない事・できない事があり、それはどこかの誰かに生き続ける勇気を与えるほどの力があるのです。写真展を通して、サバイバーの目線から世界を垣間見る体験を多くの人にしてもらい、性暴力の社会的影響だけではなく、暴力防止と被害者サポートについて、一人ひとりに何ができるのかを考えていただけたら幸いです。



ギャラリートークファシリテーター・講師　大藪順子（おおやぶのぶこ）
アメリカシカゴのコロンビア大学卒業後、アメリカ中西部の新聞社に勤務。約100人の性暴力被害者を取材撮影し2002年「STAND：性暴力サバイバー達」を発表。これが米国でテレビドキュメンタリーとなったことで、全米各地で写真展と講演を展開。2006年より日本でも写真展と講演会を通して活動する。1996～2002年全米報道フォトグラファー協会より数々受賞。2002年ワシントンDCよりビジョナリーアワード、2008年やよりジャーナリスト賞、2011年シカゴ母校より卒業生賞受賞。2007年著書「STAND-立ち上がる選択」出版。2018年団体Picture This Japanを設立し、社会的弱者といわれる人たちが自ら写すことを通して自身と向き合い、声を形にするフォトプロジェクトの企画・運営を行う。

他写真展スケジュール

・11月7日（月）～13日（月）
鎌倉駅地下道ギャラリー

・12月8日（金）～10日（日）
東京都港区男女共同参画センター
リーブラ　研修室E

・2024年1月14日（日）～20日（土）
さいたま市男女共同参画推進センター
パートナーシップさいたま

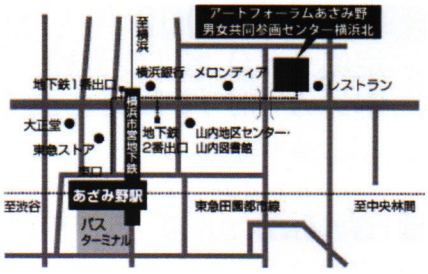
STAND Stillラウンジ
プライベート展覧会と交流会

カウンセリングではない表現活動に興味のある人、支援者、当事者向け。音楽と飲食付き。

日時：1月27日（土）13:30～15:30
会場：横浜市関内地区
（後日参加者へお知らせします）
参加費：3000円（要予約）

予約はSTAND Still HP
お問合せフォームより

アクセス

アートフォーラムあざみ野　（男女共同参画センター横浜北）
〒225-0012　横浜市青葉区あざみ野1-17-3

〇交通のご案内 東急田園都市線・横浜市営地下鉄　「あざみ野」駅徒歩5分 ※駐車場は予約制（有料）　電話045-914-5910